

「こどもの権利に関するアンケート調査」

フィードバック授業

【実施報告】

和光市立本町小学校 5 年生

令和8年 3 月

和光市子ども家庭支援課

目的

和光市こどもの権利条例の制定を目指し、令和7年12月から令和8年1月に行った「こどもの権利に関するアンケート調査」の結果を、こどもたちにフィードバックしました。

そして、その結果をもとに、こどもたちの生の声を聞きました。

子ども家庭支援課の職員が、市立本町小学校に訪問してフィードバック授業を行いました。

概要

日時

令和8年3月13日（金）
13:15～14:00（5時限目）

場所

本町小学校 視聴覚室

対象

本町小学校5年生 63名

授業の流れ

01

アンケート結果の説明

12月から1月に行われた「こどもの権利に関するアンケート調査」の結果をみなさんに説明しました。

アンケート結果はこちら



(市公式ホームページ)



02

こどもの権利4つの原則

こどもの権利4つの原則について、説明しました。

03

グループディスカッション

「周りの大人が、自分のことを考えてくれていると感じるときはどんなとき？」というテーマで、グループディスカッションを行いました。

04

発表

グループで出た意見をみんなに発表して、共有しました。

05

動画視聴

こどもの権利の動画を視聴しました。



視聴した動画はこちら



(市公式YouTube)



06

意見聴取

最後に「こどもの権利条例ができたとき、どんな和光市になっていたらいいと思う？」という質問に対して意見をいただきました。

こどもの権利 4つの原則

こどもの権利について考えるときに

大切な4つの考え方

差別のないこと

すべてのこどもは、こども自身や親の人種や国籍、性、意見、障害、経済状況などどんな理由でも差別されません。



命を守られ成長できること

すべてのこどもの命が守られ、もって生まれた能力を十分に伸ばして成長できるよう、医療、教育、生活への支援などを受けることが保障されます。



こどもにとって最もよいこと

こどもに関することが決められ、行われる時は、「そのこどもにとって最もよいことは何か」を第一に考えます。



意見を表明し参加できること

こどもは自分に関係のある事柄について自由に意見を表すことができ、大人はその意見をこどもの発達に応じて十分に考慮します。

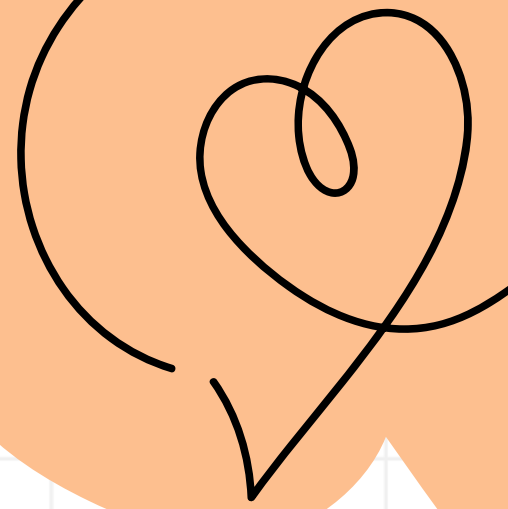


みんなからの意見（一部抜粋）

～「周りの大人が、自分のことを考えてくれると感じるときは
どんなときですか？」～

- 真剣に話を聞いてくれるとき
- ご飯を作ってくれているとき
- 自分のやりたいことをやらせてくれたとき
- 風邪をのときに看病してくれたとき
- 家族がそろっているとき
- 心配してくれたとき
- 自分の意見を尊重してくれたとき
- 行きたいところに連れて行ってくれたとき
- 危ないときに注意してくれるとき
- いろいろなことを教えてくれるとき

- 送り迎えをしてくれるとき
- 習い事などのお金をだしてくれていること
- 良くないことをしたら「良くない」とちゃんと
言ってくれるとき
- 勉強してって言われるとき
- 自分のために何かをしてくれているとき
- ほしいものを買ってくれるとき
- 自由にしていよって言われたとき
- 自分を守ってくれたとき

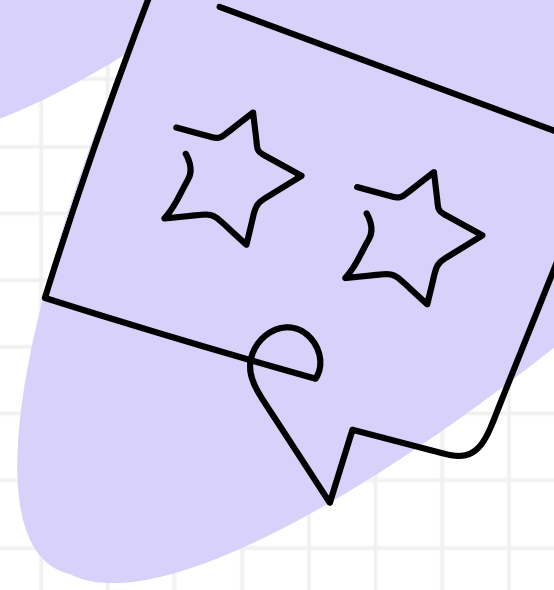


みんなからの意見（一部抜粋）

～「こどもの権利条例ができたとき
どんな和光市になっていたらいいと思う？」～

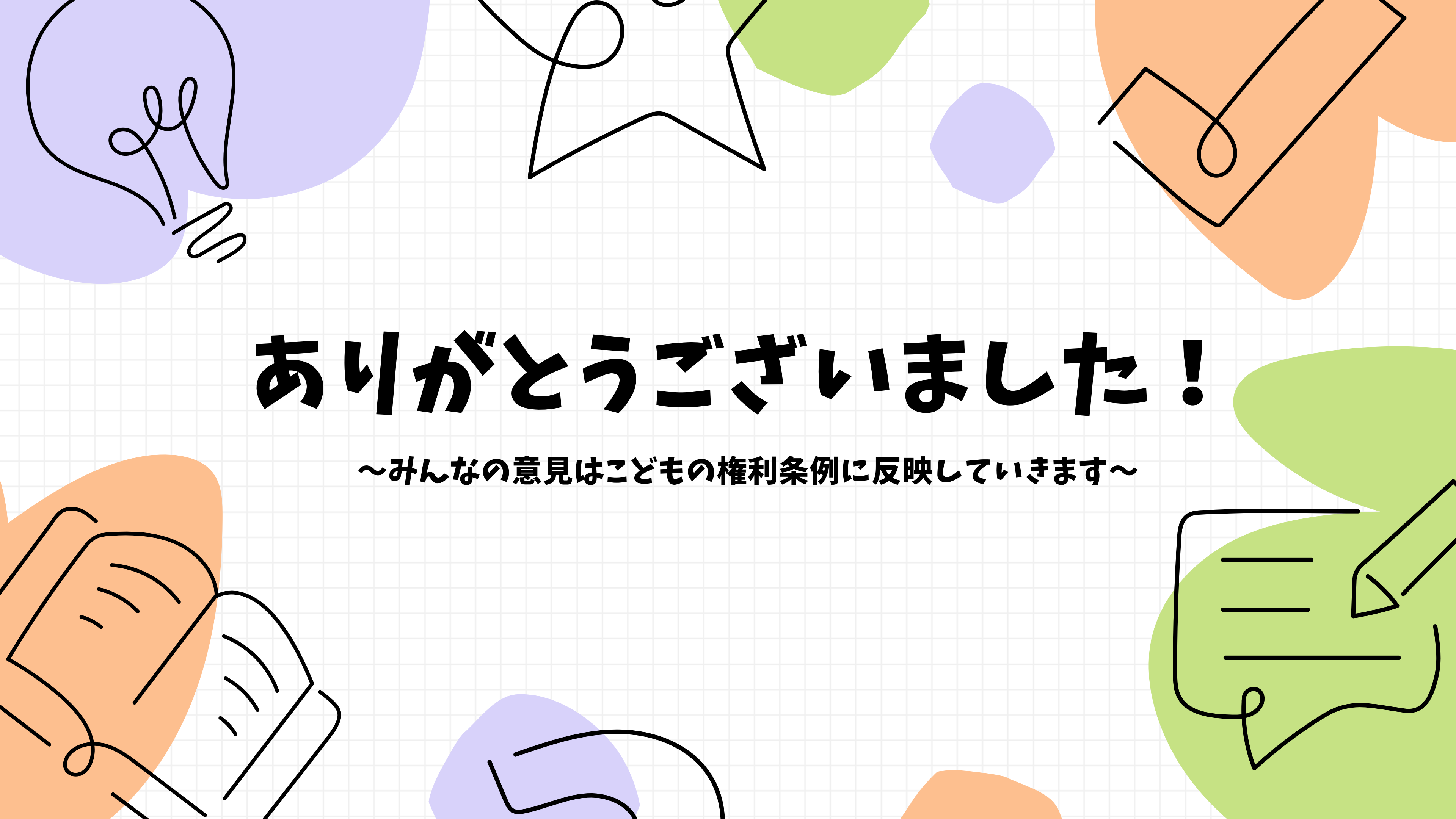
- 誰もが差別されることなく、安心できる
- どんなときでも平等に守ってもらえる
- 安全で安心できる場所がある
- こどもの意見がしっかりと聞いてもらえる
- 親の帰りが遅い人が誰かと居れる場所がある
- 言いたくないことは言わなくていい
- こどもが相談できる場所に入りやすくなる
- みんなが楽しくて、平和で、いじめなど差別がない

- みんなが安心して明るく元気に育てる、環境の良い和光市
- 約束は絶対に守られる
- こどもの意見が尊重される
- 誰もが仲良くくらせる
- 地域の人たちと交流が深まるような和光市
- 勉強も遊びも平等にできる
- 色々な人が自分の意見を聞いてくれる
- こどもの意見が否定されない



当日の様子





ありがとうございました！

～みんなの意見はこどもの権利条例に反映していきます～